

■日本福祉大学 SANE 養成プログラム 2019 シラバス

科目名	性暴力被害者支援看護職（SANE）養成プログラム 2019	単位認定なし
担当教員	長江 美代子（日本福祉大学 看護学部 教授）	
テーマ	暴力・倫理・法にかかわる看護の課題：暴力を経験した小児／思春期／成人の対象に対するケア	
科目のねらい	<キーワード> ①性暴力被害者 ②全人的・包括的ケア ③クリティカルシンキング ④フォレンジック ⑤地域機関との連携 <内容の要約> DVや性暴力被害者に、全人的・包括的なケアを提供するために必要な基本的知識とクリティカルシンキング能力を習得する。具体的には、フォレンジック看護、性暴力被害者のケアの背景、暴力の構造と性暴力の力学、被害者の反応と危機介入、アドボケイト、緊急医療処置、法医学に基づく臨床科学、法医学的既往の聴取法、地域機関との連携、中長期ケアとフォローアップについて学ぶ。討論、模擬事例、ロールプレイ、視覚的教材、体験学習を活用したスキルトレーニングを含む。 <学習目標> 1. 人のライフスパンにおける犯罪や倫理にかかわる課題への対応と実践を看護過程に組み込むことができる。 2. 性暴力に関連する被害の聴取をアドボケイトとして二次被害に配慮し、正確、客観的、簡潔に行うために必要なスキルを習得できる。 3. 被害者のケアに関与する多職種チームの中で、効果的に関わり協力するための基本的な知識を習得できる。 4. 被害者の生物学的証拠・痕跡証拠のニーズに対して、被害者中心のアプローチを採用する看護師の役割を説明できる。	

授業の内容	①オリエンテーション・フォレンジック看護の概要（1 コマ） ②性暴力救済センター日赤なごやなごみの現状と課題（1 コマ） ③DV と性暴力（1 コマ） ④被害者のケアにおける職業的・倫理的行動（1 コマ） ⑤トラウマを抱えた子ども（2 コマ） ⑥RIFCR™研修（3 コマ） ⑦女性への暴力の社会的背景と実態（2 コマ） ⑧SANE 性教育の実際（1 コマ） ⑨女性への暴力と医療／性教育の重要性について（2 コマ） ⑩支援が行き届かない性暴力被害者の理解（GLBTIQ）（2 コマ） ⑪検察官から見た性犯罪捜査の問題点（2 コマ） ⑫関連法律の基礎、訴訟、法的補償、秘密、SANE に必要な法知識（2 コマ） ⑬生活への影響：アドボケイト SANE との連携（1 コマ） ⑭受刑者、高齢者、障害者、言語・コミュニケーションの障壁を持つ対象者の心理社会的課題（1 コマ） ⑮男性被害者の理解（1 コマ） ⑯警察の役割と対応（1 コマ） ⑰多職種連携 SART チーム／なごみにおける地域連携（1 コマ） ⑱医学的証拠採取、記録、性犯罪・DV SANE のフォレンジックアセスメント（2 コマ） ⑲医学的証拠採取、記録、法医学的写真撮影（1 コマ） ⑳協働、社会資源、相談窓口（1 コマ） ㉑性暴力被害者支援で必要とされる性感染症に関する基礎知識（1 コマ） ㉒ケアと持続（演習）（1 コマ） ㉓病院拠点型における SANE 実践（2 コマ）
時間数	講義：57.5 時間 演習：3.5 時間 計 61 時間（33 コマ）相当
事前学習の内容 学習上の注意	テキストや配布物は講義予定の内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 演習・講義には、質問・意見・感想を述べるなど、積極的に参加する。 学んだ理論を臨地におけるトピックスに適用し実践に生かす視点を持つ。
テキスト	フォレンジック看護（医歯薬出版）
参考文献	講義内で別途指示する
成績評価基準	すべての科目（時間数）を履修すること
その他	日本福祉大学の履修証明書を発行する（2019 年度は単位認定なし） （一社）日本フォレンジックヒューマンケアセンターの SANE 修了証を発行する